

議会だより



**「教育費無償化」「ゆきとどいた教育」の
前進を進める請願について** 3

一般質問 町づくりから食、福祉、消防など幅広く議論... 5

新しい町づくりへ 私の提案.....19

私たちは昭和、平成、令和生まれの親子です。
関連記事20p

発行／長野県飯綱町議会 編集／議会報編集調査特別委員会 発行責任者／清水 満
〒389-1293 長野県上水内郡飯綱町牟礼2795-1 TEL026-253-2511

令和元年6月30日現在 人口11,072人(98.7%)／男5,460人(98.9%)・女5,612人(98.5%)
世帯4,204(101.0%) ※うち外国人世帯29(100.0%) ()内は前年比率

若者等住宅地造成始まる

東黒川原田地区

・6月定例会は、3日から19日までの17日間の会期で開催された。
 ・提出議案は、報告4件、条例関係4件、補正予算3件、その他3件、請願5件、陳情1件で審議の結果、9議案を可決。請願1件を不採択とした。
 ・一般質問には、8人が立ち、町の行政執行を質すとともに、施策の提案を行った。

令和元年一般会計補正予算(第1号) —可決

主な補正内容

既定の予算に3199万円を追加し、総額86億7199万円とするもの。

補正事業

- ・福祉センターでの確定申告業務等町民会館に移すネットワーク費220万円
- ・しなの鉄道利用促進事業の工事請負費(駅前鳥居川タクシー営業所の場所を舗装) 220万円
- ・保育一般事務の電算システム委託費 740万円

・小玉地区の団体営事業費委託料(しなの鉄道越しの用水路架け替え) 1500万円

財産の取得

町道路線の認定

—いずれも可決

黒川原田地区の住宅造成地内の道路部分を県住宅供給公社から1288万円で取得及び未認定道路を新規に町道認定するもの。



▲黒川の住宅造成地。中央は、町が取得した道路部分

税条例等の一部改正 —可決

改正内容

- ・個人住民税
前年の合計所得が135万円以下であるひとり親に対する個人住民税の非課税
・軽自動車税
本年10月1日から1年間、環境性能割を非課税又は1%の軽減措置。
10月1日以降の軽自動車税種別割のグリーン化特例の見直し(令和3年から電気自動車のみ75%の減)。

飯綱町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正 —可決

主な改正内容

- ・保証要件の緩和。
- ・保証人なしでの災害援護資金の貸付。
- ・貸付利率の引き下げ。
- ・保証人を立てる、立てない場合の2通りあり。
- ・償還方法の拡充

廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正 —可決

消費税法の一部を改正する等の法律の改正に伴うもの。

主な改正内容

- ・し尿に係る一般廃棄物手数料の見直し
- ・基本料金(180ℓ以下)1650円↓1680円
- ・加算料金(180ℓ超18ℓごと)165円↓168円
- ・特別料金(仮設トイレ)2280円↓2320円

公の施設の指定管理者の指定 —可決

牟礼駅第3・第4駐車場の管理者を指定するもの。

- ・指定管理者となる団体の名称 商栄会(会員20名)代表者 小林直樹
- ・指定の期間 令和元年6月20日から令和4年3月31日まで。

「教育費無償化」の前進を求め

国へ意見書提出へ

「教育費無償化」の前進を求める請願

常任委員会では不採択

本会議で採択

26年4月の入学生から高校無償化への所得制限が導入された。OECD諸国では、所得制限なく高校無償化を実現している。所得制限なしの高校無償化を復活し、大学生への奨学給付金制度の拡充について国に意見書提出を求めるもの。

本会議での討論

賛成討論—石川 信雄

高校進学率は98%となつている昨今、無償化は妥当と考える。よつてこの請願に賛成である。

反対討論—青山 弘

民主党政権は、かくあるべきと理想論を振り回し高校無償化法を作つた。財源を議論しないで作つた施策に戻すのは反対。

賛成討論—大川 憲明

我が国の少子化の主たる原因は、教育費が高いためと考える。国が教育費を無償にすることで出生率を上げることができると考える。

反対討論—樋口 功

国民負担率が低い我が国では、教育費無償化の財源は国債発行に頼らざるを得ない。かえつて将来世代に負担増が生じることになる。

賛成討論—伊藤 まゆみ

税は応能負担をしつかり行えば、授業料無償化は実現できる。

賛成討論—原田 重美

消費税引き上げは止むを得ないが、一方で社会保障の拡充、教育環境の改善など国民の安心づくりが国の基本的責任である。

「ゆきとどいた教育」の前進を進める請願

常任委員会では不採択

本会議で採択

国の責任で、35人以下学級を計画的に前進させることを求める意見書の提出を求めるもの。

賛成討論—伊藤 まゆみ

長野県では、小3〜中3まで独自に35人規模学級を実施している。国がきちんと責任を持てば、教育環境が一層充実できる。

反対討論—中島 和子

少人数学級が、必ずしも不登校対策につながるとは考えにくく、それぞれの実態に応じた教育現場での対応にゆだねるべきである。

賛成討論—石川 信雄

教育費は未来への投資と考える。時代の変化に対応した教員増も必要と思ひ、この請願には賛成である。

賛成討論—清水 均

少人数学級とすることで、教員と児童生徒が向き合い、一人ひとりの資質や能力を引き出し、学習能力の向上になる。

国民健康保険への国庫負担の増額を求める意見書採択についての請願

採択

「消費税増税中止を求める意見書」不採択

政府に対し「消費税増税中止を求める意見書」提出を求める請願—不採択

暮らし、地域経済、地方自治体に深刻な打撃を与える消費税増税の中止を求めるもの。

本会議での討論

賛成討論—渡邊 千賀雄

今でさえ家計消費は低迷。この上増税では、地域の経済や暮らしへの影響は大きい。消費税に頼らない別の道で税の確保を。

国において国民健康保険料・税の引き下げのために国庫負担を増額することを求める意見書の提出を求めるもの。

賛成討論—伊藤 まゆみ

27年間で国庫負担金が半分以上に削減され、加入者負担が増える要因になっている。国は全国知事会が求めているようにすべき。

賛成討論—荒川 詔夫

軽減税率・ポイント還元制度は、煩雑で分かりづらく周知度等にも問題が生じ、対応いかによつては公平が担保されない。

常任委員会での審査

(3月定例会継続審査のため5月15日閉会中審査)

反対討論

消費税率10%への引き上げは、社会保障費、幼児教育の無償化、一部高校生授業料の無償化に使用されるため、中止することに反対である。

全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の趣旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出すること
 を求める陳情
 —採択

日米地位協定の考え方

「米軍は、わが国の施政権下にある領域内であれば、どこにでも施設・区域の提供を求められる権利が認められている…」日本全国どこにでも米軍基地ができる可能性がある。

本会議での討論

賛成討論 — 渡邊 千賀雄

日米地位協定は憲法の理念、地方自治の根幹をも揺るがしかねない協定だ。国内法の適用を求める内容は、町議会としても賛同できる。

国に提出する意見書
 本会議での討論

賛成討論 — 目須田 修

地位協定の見直しは、沖縄県民の長年の悲願。沖縄以外に住む私たちが自分のことと実感し共に考え、協定の見直しを迫るべき。

臨時会

4月26日開催

改正
 飯綱町病院条例の一部を
 改正
 —可決

主な改正内容

着任する医師によって、標榜する診療科に変更が生じることがあるため、診療科目の表記を必要に応じて、どの診療科にも対応できるように変更するもの。

工事請負契約の締結
 —可決

事業内容

小中学校エアコン機器設置に伴う電気設備工事(牟礼小学校、三水小学校、飯綱中学校)
 ・契約金額 4644万円

6月定例会 議案に対する各議員の賛否結果 (○賛成 ●反対)

議案名	表決結果	清水均	風間行男	中島和子	目須田修	瀧野良枝	原田幸長	石川信雄	荒川詔夫	伊藤まゆみ	青山弘	樋口功	渡邊千賀雄	原田重美	大川恵明	清水満	
飯綱町税条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
飯綱町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
飯綱町介護保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
飯綱町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	—
令和元年度飯綱町一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
令和元年度飯綱町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
飯綱町公の施設の指定管理者の指定について(牟礼駅第3、第4駐車場)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
財産の取得について (東黒川地区の住宅建設地内町道路線の認定について)の道路)	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
政府に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願	不採択	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	—
「教育費無償化」の前進を求める請願	採択	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	—
「ゆきとどいた教育」の前進を求める請願	採択	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	—
国民健康保険への国庫負担の増額を求める意見書採択についての請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
陳情 全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出することを求める	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
国民健康保険への国庫負担の増額を求める意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを求める意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
「教育費無償化」の前進を求める意見書案	可決	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	—
「ゆきとどいた教育」の前進を求める意見書案	可決	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	—

外、議案1件撤回、請願1件取下げがあった。

町づくりから食、福祉、消防など幅広く議論

中島 和子議員

- 1 多世代交流による地域の活性化を
- 2 人口減少と集落維持への対策は

瀧野 良枝議員

- 1 学校給食を核とした「食と農」の町づくりを
- 2 「食と健康」の町づくりを

原田 幸長議員

- 1 三本松周辺農業拠点整備計画に係る影響評価は
- 2 交通安全対策は
- 3 救命処置の実技講習会は

渡邊 千賀雄議員

- 1 町長の政治姿勢を問う
- 2 飯綱町におけるエネルギービジョンについて
- 3 樹木の繁茂、はみ出しに対する農地法保全対策は

青山 弘議員

- 1 建設中の多世代交流施設について
- 2 各種計画策定に伴うコンサルタント委託について
- 3 消防団の充実と災害に強いまちづくりを

樋口 功議員

- 1 第2次飯綱町総合計画及び実施における「共働」とは
- 2 男女共同参画社会づくりの現状と今後の取組は

清水 均議員

- 1 空き家対策の成果と今後の課題は
- 2 郷土史の資料収集と保存は
- 3 未登記道路の登記手続は

伊藤 まゆみ議員

- 1 医療と介護の連携強化を
- 2 会計年度任用職員制度の対応は
- 3 子ども条例の制定を
- 4 放課後児童クラブ指導員の体制は

- 一般質問は、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求めるものです。
- 一般質問の詳細については、ホームページ、議事録でご覧になれます。
- 一般質問の原稿は各議員が責任をもって編集しています。

一般質問

傍聴席



池田 巖さん
(普光寺)

長年飯綱町で生活しているながら、この町のことを積極的に知ろうとしてこなかった自分のことを恥じつつ、退職し改めて地元との向き合い方などを考えておりました。

たまたま地区の役に就いたことから町議会一般質問傍聴のご案内をいただき、目下の関心事もありましたので「自身初めての」議会傍聴を経験しました。

第一印象は、「傍聴者が非常に少ない」とのこと。2日目も同様でしたが、今までの自分を振り返ってみた時、妙に納得がいく情景でした。

開会后、一定の緊張感の中、全で一問一答方式で進んでいきました。

有意義だった初めての傍聴

一人の質問が終了されると次の質問に向けて休憩を取るのがちょっと新鮮でした。

さて、質問内容ですが、議員お一人お一人がよく調べて準備されたことが窺えるもので、やはり町の活性化に関するものが多かったという印象。

理事者側も、通告を踏まえてしっかり準備したと思われる内容で全体的に歯切れの良い答弁。好感がもてました。

町政の「今」を生で聴くことはとても参考になりました。

空席だらけの傍聴席でいささか目立ってしまいました。自分なりに有意義な時間を持てたと感じます。



中島 和子議員

多世代交流による地域活性化を

町長 時間を共有した交流の模索をする



▲飯綱中学校生徒と地域のお年寄りの交流会(いきいきサロン)

一般質問

中島 多世代交流による集落活性化をどう推進していくか。

教育長 子育て教育を充実させる上で地域の協力が欠かせない。地域と学校の交流を通してふる里を知ってもらおう。地域の中で子どもたちを育てていく。

保健福祉課長 地域力の強化が求められる。深沢交流施設を拠点とした展開を考える。

中島 集落創生事業で進めてきたリーダー育成の成果

人口減少対策と集落維持について

中島 在宅ワークも

し、活動の基盤作りをする。

中島 遅れている多世代交流センターの竣工と施策の方向は。

企画課長 オープンは12月上旬予定。管理・運営者で構成する協議会組織を設置

する。

中島 自治活動の成立が難しくなる中、区代表者会議での新しいコミュニティ作り移行への検討は。

総務課長 望んでいる地区とない地区があり、切実な状況にならないと進まないデリケートな部分がある。集落創生事業は11集落で取り組んでいる状況の推移を見守っていく。

中島 高齢化により手が回らなくなった生活圏の荒廃地への補助事業は。

産業観光課長 中山間地域等直接支払事業では22集落で交付金7000万円、多

可能な時代。流出した若者を町に迎える施策はあるか。

企画課長 若者向けとしてホームページSNS等で町の情報を伝える。転出者に対する方法を検討する。

中島 後継に限らずUターンされた方への補助事業は。

企画課長 3世代同居家賃応援助成金や、若者定住促進補助事業で中古住宅購入やリフォームの補助制度。要件によっては国・県の移住支援金の補助がある。

産業観光課長 農業関係では、国の補助制度に該当しない飯綱町認定農業者の子供が親元就労のため戻られた場合、今年度から新たに60万円を2年間、夫婦の場合はその1.5倍を交付するようになる。

中島 高齡化により手が回らなくなった生活圏の荒廃地への補助事業は。

産業観光課長 中山間地域等直接支払事業では22集落で交付金7000万円、多



▲五岳道路沿いに植栽された花の苗

面的機能支払事業では12集落で1700万円が交付されている。共同作業で草刈のあと法面に花を植栽して農村風景の維持をする地区もある。

中島 金銭的な補助では解決しない高齢化による人手不足に対して集落維持への対策はあるか。

町長 行政の力を真剣に考えていただく。人口減の中で、財政は厳しくなり増税もある。集落としてどう生き残るか。集落創生事業で是非検討いただき、それを踏まえて支援していく。

企画課長 モデル地区で都市部の人に田舎暮らしを体験していただき、代わりに労力提供の、新たな取組「価値交換プロジェクト」を考えている。

道の駅計画はいつ頃から始動したか

町長 6年位前から6次産業化と合わせて

原田 三本松直売所の造成

建設について、規制の内容は

どういったものがあるか。

産業観光課長 農振除外に

ついては、現在公告期間中

であり、問題がなければ今

月末には農振除外となる予

定。本年の7月末には農地

転用の許可が得られる予定。

施設の建築については、建

築基準法に沿ったもの。町

の玄関口にふさわしい直売

所となるよう実施設計を進

めている。



原田 幸長議員

されてきたか。

町長 具体的に動き出した

のは、6年ぐらい前から6

次産業化と合わせて検討を

スタートした。

原田 現段階での課題は。

産業観光課長 トイレ、情

報館などの道の駅の主要施

設については、県と町が一

体で事業を行う。実施主体

は県となるため、課題は県

での予算確保の関係で道の

駅整備時期の見通しを明確

にできないこと。

る検証はなされたか。

産業観光課長 新直売所の

経済効果について試算はし

ていない。新直売所付近の

24時間交通量、観光案内所

や体験農園機能も付加して

いるので、大きな経済効果

があると考えている。



▲大きな経済効果が期待される三本松直売所建設予定地。将来道の駅構想を持つ

交通安全対策は

原田 外側線も含めて白線

がない、又は消えているな

どの補修が必要な箇所を把

握しているか。

建設水道課長 危険な箇所

等を含め、職員による見回

りが必要な箇所は個々には

承知している。どの箇所が

どのくらい区画線がなく、

補修が必要であるかは調査

していく。

原田 道路安全施設の予算

が少ないように思われるが。

町長 予算総額の中でどう

やって配分をしていくかと

いう中で、建設費に道路維

持費、新設改良費、除雪費

いろいろな予算を計上して

いく。予算の中で融通でき

るか、また予算編成の時に

どんな融通ができるか考え

る。

救命処置の

実技講習会は

原田 救命処置の実技講習

会開催状況や受講者数は年

間どれくらいか。

総務課長 消防団では年1

回の講習会を実施し、参加



▲AEDを使っの救命処置実技講習会の模様

人数は30名前後。毎年9月の地震総合防災訓練ではAEDを含めて救護講習会を実施している地区もある。

原田 AEDがコンビニなどに設置されていけば便利で安心できると思うが、町のAED設置状況と今後の設置場所等の計画はされているか。

総務課長 民間施設も含め36か所になる。厚労省のガイドラインには、AEDの設置施設にコンビニも含まれている。3つのコンビニと協議を行う中で、公共として整備していくことについて、適正な維持管理も含めコンビニへの設置を検討していく。

多世代交流施設

いつ完成する 工期が遅れている原因は

町長 完成は12月上旬を目指している



青山 弘議員

3月末には完成の 予定だった

青山 施設の建設工事が遅れている。昨年4月の広報いづなに「多世代交流施設を建設します」と載せてから1年以上経ち、本年3月末に完成の予定が12月上旬まで延びる予定とのことである。何が原因で、完成がこんなに延びることになったのか。

企画課長 工事の途中で埋まっていた地下タンクから油が出てしまい、これが原因ですべての工程を組直しすることとなり、業者に発注した現場搬入の鉄骨のキャンセルや注文のし直しのため工事が遅れている。

青山 オープンに向けて、そこに入る関係者との打ち合わせはどこまで進んでいるのか。

企画課長 関係者には当初の予定は申し上げてあるのですが、具体的な条件とか細部については完成までの間に詰めさせていただく。管理運営計画を作成して、9月の定例会には報告できるようにしたい。

一般質問

コンサルタント会社に 計画策定を丸投げ していないか

青山 各課の計画策定では、コンサルが案を作成し、役場の職員が添削する形式をとっている。計画はコンサルを入れないとできないのか。過去3年分のコンサル会社に委託した事業数と金額はどれくらいか。

総務課長 平成29年から31年までで7件、金額で約2700万円である。何でも委託しているわけではなく専門性が必要なものを委託している。

消防8分団 の体制は

青山 消防団は8分団の体制をずっと維持してきた。平均年齢が上がって、団員



▲深沢地区に建設中の多世代交流施設(6月29日撮影)

数が減少してきている。この体制をいつまで維持できるか。

町長 この数がちようどよいと思う。このまま8分団の体制を維持していきたい。そのために女性団員とか団員の確保に力を入れなければいけないと考えている。

本年の総合防災訓練 に安否確認の訓練を

青山 災害時住民支えあいマップはどれくらいの集落が作成しているか。実際に災害が起きた時に訓練していないことはできないから、9月に行う総合防災訓練で地域の中で近所同士が助け合う「共助」の訓練をしたらどうか。

総務課長 現在43集落が災害時の支えあいマップを作成している。今年も、安否確認の訓練を実施できるように進めていきたい。



空き家対策

成果と今後の課題は

町長 改修と家財処分に補助を新設

清水 売却や貸借の目標と町独自の施策等は考えているか。

町長 数値目標は持っていない。

施策は、空き家住宅を改修するための補助と、本年度から家財の処分に補助を新設した。移住を促進するには住む所、職業等、総合的に整備した中で誘致していかねばならない。

清水 都会の若い人たちに移住を進める事業は。

町長 民間会社と歩調を合わせるような形で、これを

ら取り組んでいきたい。

清水 件数と状態を把握し、使用可能か不可能か。その対応策は。

町長 どちらにしても取り組んでいかざるを得ない事業である。

清水 民間業者と連携し売り出せないか。

町長 5月9日設立した町

づくり会社的な「株かん

まつせ いいづな」の中に事業を入れて、一緒に動くことも視野に入れ、今後も対応したい。

清水 別荘地は空き家も多く、今後発生する課題は明確か。

町長 飯綱東高原全体の空き家別荘を、レンタル的、社員の休養、慰労のための借り入れ等多目的利用にしたならどうかという一部の会社の皆さんの話もある。

清水 古民家を活用した民宿、IT企業を活性化させた。

町長 そういう事業もこれから出てくると思う。整備をして、価値を上げ、別荘地として利用していくことに大いに期待している。

清水 今後空き家になると思われる家庭に、将来構想の考えをアンケートで住民



清水 均議員



▲空き家集落となった日向地区

一般質問

意見を。

町長 今後についてアンケートも一つの方法であるが、皆さんがそこに住んでいて良かったと思う中で、町がどのように支援できるか考えていくのが一番ではないか。



▲歴史ふれあい館内にある先人の生活状況

郷土史の資料の収集と保存は

清水 町内の各家庭に保存されている重要な歴史保存のため、収集や在宅保存と

いった対策が必要だ。

教育次長 町内の個人が所有している資料の所在の確認をしていないが、今後、各家庭に重要な歴史的資料が保存されている場合もあるので、住民の皆様の協力を得ながら、保存の収集を呼び掛けていきたい。

保存方法は、2校跡地校舎のメモリアルルームの一室を設けてあるので、郷土史料室として活用したい。

未登記道路の登記手続は

清水 公衆用道路の個人所有者から所有権移転は終了したか。

建設水道課長 2路線で116筆中7筆が未登記になっているが、町道認定は可能である。

町長 青木製作所から福井集落までの道路は、緊急性がなく、地元の要望がないとの意見があり、今日まで舗装の予算計上はしていない。この道路については流末処理を検討し対応したい。

地産地消

町独自のコーディネーターの活用を

町長 職員の育成を前向きに検討する



瀧野 良枝議員

一般質問

給食のアレルギー対応は適切か

瀧野 モニターの意見で「2種類以上のアレルギーがある」と弁持持参したが、共同調理場で対応できないか」とあったが、対策は。
教育次長 アレルギーに特化した栄養士を採用し、早急に除去食・代替食の提供ができるように検討している。
瀧野 誤食などの発生は。
教育次長 30年度、保育園で6件。
瀧野 職員のチェック体制が重要。今後の対策は。



▲「今日の給食もおいしかったよ」(さみずっ子保育園)

教育次長 朝礼でアレルギー献立チェック、配膳時はアレルギー食から提供等、体制を強化。
食の安全についての方針は

瀧野 食材検査は、放射性物質のみ。残留農薬や遺伝子組換え成分等の安全性検査の実施は。
教育次長 残留農薬は、JAでは栽培記録で防除の状況を確認し、新たな直売所でも栽培記録を付けていく。食の安全は重要な部分であるので、その他必要な検査については、今後検討する。

町民全体へ食育の広がり

瀧野 学校給食を核に食育フォーラムの実施を。
教育次長 住民に学校給食の良さ、食育のアピールをする良い提案。食育推進会議とも連携し、進める。
瀧野 保育園や学校からのお知らせは紙媒体が主。メールで農業体験の持ち物のお知らせに食育メッセージを入れるなど、効果的な

情報発信を。
教育次長 以前提案されたメールを活用した保護者との双方のやり取りも含めて、できることから始める。

地産地消の積極的な推進

瀧野 給食への地元農産物利用は、付随する良い効果が町内に広がる。数量確保や品揃え等の課題解決など、



▲地域食材を生かした健康メニュー(学校給食共同調理場)

給食食材に安定的に供給できる体制づくりや、町内に地産地消を進めるコーディネーターの活用を。
産業観光課長 調整役は非常に重要。直売所のスタッフで役割を果たす人材育成を前向きに検討する。

食と健康の住民意識の向上

瀧野 食生活と生活環境の実態調査における課題と対策は。
保健福祉課長 塩分摂取量の多さが共通課題。食育推進会議等で対策に取り組む。

瀧野 「健康づくり21」の調査項目に不足がある。各課連携を図り、数値を把握し、計画的実行を。
保健福祉課長 至急対応する。
瀧野 町内飲食店等に協力を依頼し、減塩、野菜豊富、低糖質など健康メニュー提供を。
保健福祉課長 協議会や各課担当間で検討する。

消費税増税中止の声を国に上げよ

町長 増税の判断は国が行う

渡邊 消費税増税の町内経済に及ぼす影響は。

家計消費・個人消費は前回の増税後、落ち込んだままといわれる。

町長 景気の停滞はあるだろう。

渡邊 町民の生活実態への影響は。個人の所得の推移は、ここ数年低迷している。こうした時に増税はどう影響するか。

町長 国は当面的対応はするが、生活弱者への影響が心配。

渡邊 地方自治体への影響



渡邊 千賀雄議員

は。

町長 交付金800万円を見込んでいたが、負担が増えると予想。

渡邊 消費税に頼らない税の確保策がある。消費税10%は中止すべきだ。国に声を上げることがどうか。

町長 国民の理解を得るべきだ。

く努力すべきだ。

憲法9条改憲に反対を

渡邊 9条を生かし、平和と安定を希求することこそ求められている。

町長 憲法は守っていくべきだ。

渡邊 もろもろの機会に9条改憲反対の声を上げていくべきと思うが。

町長 国民の大多数が改憲を望んでいない。

普光寺山等の太陽光発電計画は

渡邊 「飯綱町地域新エネルギービジョン」を策定してあるが、進捗状況と課題

は。企画課長 10年計画の半分すぎたので見直した。概ね順調に進んでいる。災害に強い町を目指す。

渡邊 普光寺山等における太陽光発電の建設計画が、相次いでおり、普光寺地区では民間業者による住民説明会も開かれた。住民からは、不安と危惧されることが指摘されている。

住民環境課長

町自然環境保全条例で対応。意見・質問への業者からの回答を待っている段階。

渡邊 各地で問題化していることは、①自然環境・景観の阻害、保護問題②土砂・豪雨災害への対応③住民との協議・合意問題④業者等の不測の事態の場合の対応等。

住民環境課長 業者への質問項目に入っている。



▲町内各地で進む太陽光発電パネル設置

樹木の繁茂、はみ出しに対する農地保全策は

渡邊 営農に障害となり、農作物の減収、耕作放棄地化となることで苦情が寄せられる。個人では解決できない場合は。

産業観光課長 立木処理にかかわる経費の2分の1。10万円限度で支援している。様々な方法で周知していく。



樋口 功議員

町総合計画における「共動」とは

町づくりは住民と共に動くことで

樋口 第2次町総合計画及び実施における「共動」の現状と今後の取組は。

「共動」項目	答弁者	現状及び評価等	今後の方向
森林は、植林の段階から、町民と一緒に手作り	産業観光課長	飯綱東高原の「森林の里親促進事業」は、4社で3,000人が4,000本の植樹。「霊仙寺湖周辺紫陽花植樹」は、1,000人が1万本植樹。参加者に愛着心。	事業を継続し、町内外の多くの者に参加を募る。
耕作放棄地の発生防止と農地の有する多面的機能の保持	産業観光課長	中山間地域等直接支払事業は22地区で計380ha、多面的機能支払交付金事業は12地区400haで実施。	農業不利地にとって重要施策であり、さらに参加を募る。
花づくりなど、住民の共動による道路美化運動の促進	教育次長 企画課長	主要道路沿線等での花づくりは、ボランティアとして各種団体や地区で実施。小・中学校や企業事務所内でも実施。課題は高齢化、参加者の減少。 駅前広場の花壇等は高校生や地元団体、観光協会等の皆さんが花植、水やりに参加。	景観づくりのほか、地域コミュニティの形成づくりなどを目的に継続し、さらに広く参加者を募る。
町民参加の一斉清掃を毎年企画し、継続	住民環境課長 建設水道課長	春と秋に重点的に実施。春は道普請の実施や、ごみ拾いを実施。地域など千人の参加で、782kgのごみ回収。参加者の高齢化問題もあるが、企業参加では若人が多く参加。 町が原材料支給し、地域住民が労力提供で実施する道路補修等の実績は、碎石、36地区に550立米、生コン24地区、459立米など。	事業を継続し、無線等を通じて参加者募る。 地域での共同による町づくりを目的に実施。さらには町の経費削減。事業を継続し、周知を徹底。
地域集落活性化のため集落の将来プランの作成、実施	企画課長	計画作成は11集落。うち、事業実施は6集落。計画に動き出した集落が数集落であるが、まだ少ない状況。さらに参加を期待。	実施集落の状況を紹介するなどで参加集落の増加を期待。

一般質問

男女共同参画社会づくりは

樋口 町づくりにはさらなる女性の参加が必要。男女共同参画の現状等は、教育次長 町男女共同参画計画（改定）に基づき推進活動をしている。

昨年、推進県民大会を町で開催した。町審議会等への女性の登用は現在24%。行政での登用は増加傾向だが、地域ではまだまだと感じている。ワークセンターの開所など就労支援を実施。今後も啓発活動を継続したい。

樋口 出身集落で要職の協議委員に2名の女性が選挙で誕生した。様々な課題はあるが、女性の参加が必要との趣旨を訴えることで区民に理解された。
教育長 地域での先駆的な出来事と認識している。広がり期待している。



医療と介護の連携強化を

事務長 多職種間の連携で対応

伊藤 飯綱病院では訪問診療を行い、身体の不自由な方や病気の方が自宅ですららしく安心して過ごせるよう支援している。スタッフの確保が厳しい中、評価できる。

医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、医療ソーシャルワーカーがパッケージとして取り組むことはできないか。

事務長 体制は取れないが、必要に応じて多職種間の連携を取りながら行っている。

伊藤 切れ目のない看護、



伊藤 まゆみ議員



▲これから訪問看護に出掛けるスタッフ

介護が必要であり、退院時の連絡調整など丁寧な対応が求められるが。
事務長 全てにきめ細かくは、対応できていない。
看護師、社会福祉士を確保し、退院調整チームを

作っていきたい。

会計年度任用職員制度の対応は

伊藤 来年度から町職員の公務の能率的かつ適正な運営を推進するため、

会計年度任用職員制度が始まる。現状と変更後は。

総務課長 一般職非常勤、地域おこし協力隊、地域支援員など、対象者は351人。6か月以上継続して勤務していれば、期末手当、時間外手当が支給され人事評価の対象となる。

県の制度設計を注視し、9月議会を目標に条例化したい。

子ども条例の制定を

伊藤 子ども条例が国連で採択されて30年、日本が批准して25年となる。子ども固有の権利の視点を深め、子どもの豊かな発達が保障されるためにも「子どもの権利条例」の制定が求められるが。

教育次長 すべての子どもの権利の保障は大人の役割で、幅広いもの。多くの関係者から意見を聞かなければならない。教育大綱などもあり、今は考えていない。

町長 住民から必要性が出されたり、自身でも感じた時に検討したい。

児童クラブ指導員の体制は

伊藤 放課後児童クラブの指導員の配置が、自治体の



▲指導員2人配置の児童クラブ

判断で一人でもよくなるが対応は。

教育次長 緊急事態の折、一人での対応は厳しいと考える。手当が国、県から一人分しか来なくなると、残りは町負担となる。

教育長 町として、子育てに対する支援は大きい、できることはやっていきたい。

町長 できる限りその方向で行いたい。

あの時の あの質問 どうなった??

安全

【30年9月一般質問】

交通安全対策の強化を。

危険箇所は、現場確認の上、効果的な安全施設の設置を考える。

【二元年度】

安全施設費を増額。今後、危険箇所を把握し、新設、老朽化施設の修繕を計画的に実施する。

【30年9月一般質問】

災害対策の見直しを。

1級河川等の危険箇所は、早急に県の対応を要望をする。

【二元年度】

1級河川のしゅんせつ、砂防堰堤内の伐採を実施予定。今後、県管理の危険箇所への要望を強化し、町管理の関連施設については、順次修繕を実施。

あの質問どうなった

教育

【30年12月一般質問】

図書館の機能充実と町民会館の活用を。

蔵書検索機能について検討する。町民会館の活用については、使用状況により検討する。

【31年3月】

著作権の問題でコピーはできない状況。蔵書検索機能については、公民館図書館の在り方と合わせて検討する。

【30年12月一般質問】

信濃町と連携した北部高校の学校運営協議会の設置を。

連携協定を考えている。

【31年3月】

北部高校と包括連携協定を締結した。今後、連携を強化していきたい。

産業

【30年9月一般質問】

AQ 米を活用した加工品の研究を。果物だけでなく、米の加工品も検討する。

【2元年度】

継続中 32年度建設予定の二本松直売所敷地内に加工所を建設予定。既存、加工施設の加工を含めて、米の加工品も前向きに検討中。

【30年12月一般質問】

AQ 商工業施策の具体策は。創業支援制度について検討し、商工業振興の一つの政策とする。

【2元年度】

対応 創業支援補助金並びに空き店舗改修補助金を計上。商工会事務局と詳細を打合せし、補助金交付要綱を策定中。

移住

【30年3月一般質問】

AQ 移住者の立場に立ったホームページの掲載を。新しいウェブサイトを構築し、魅力的な情報提供をしていく。

【31年3月】

対応 移住者向けパンフレットを作成し、ホームページにも活用。「いいいいいいいづな」においても情報提供している。

【30年6月一般質問】

AQ 空き家対策の進捗状況は。空き家台帳の更新をしていく。

【31年3月】

対応 空き家の実態調査を業務委託し、実施。

あの質問どようになった

新年度重点事業を 総務産業常任委員会 福祉文教常任委員会が視察



総務産業常任委員会

四季なりイチゴ

実証実験

6月10日、横手四季菜上に設置された、町と信大工学部で実践している「四季なりイチゴ実証実験」を政策サポーター3名と視察した。イチゴは年間を通して栽培することに魅力があるが、糖度が天候に左右されること、設備費が10アール当たり2500万円と高額

であること等、普及に向けてさらに検討していくこととしている。

新たな農産物直売所

建設地

平出三本松に農産物直売所の建設が検討されており、予定地の視察を行った。自然環境・交通量等、適地と感じた。今後、施設運営等について住民の意見を聞きながら、さらに検討していくとのこと。

野村上スマート

農業実験地

6月17日、野村上で推進されているスマート農業の一つ、パティーツラビット(エアポート)での水田の中期除草剤散布実験を視察した。乳剤散布で、水田に入らず20アールをわずか2分で終了。さらに粒剤散布が可能となれば、普及が進むものと思われる。

社会福祉協議会

福祉文教常任委員会

高齢者福祉、障がい者福祉、青少年健全育成及び福祉教育、ボランティア育成と幅広く事業活動をしている。課題は、介護職員の不足、会費の納付率が低いことであるとのこと。
地域共生社会に向けて、連携を密に取組むことが望まれる。



▲イチゴ実証実験施設



▲エアポートによる除草剤散布



▲社会福祉事業について意見交換

学校給食共同調理場

開設当初から、材料を手切りし、美味しい給食の提供を心掛けていたとのこと。試食したが、化学調味料を使わない自然な味付けで、大変美味しい給食だった。

職員の確保は、長期休暇のある月は収入が減ることや、限られた時間内での作業であることなど、負担が大きいことから、なかなか難しい状況にある。



▲学校給食共同調理場での作業

産廃処分場計画地芋川地籍を視察 中野市議会と町議会合同で

去る5月17日、芋川日向地籍に計画されている、(株)明光による産廃処分場計画地を中野市議会と合同で現地視察をした。この地での計画は平成4年頃から、いろいろな業者が行ってきたがその都度関係住民等の一貫した建設反対により、計画は断念させてきた。

しかし昨年12月、県へ処分場建設の「事業計画概要書」が提出され、受理されている。各地で業者による説明会も開催されている。そうした経過で中野市議会と視察を計画し、実施した。視察は、搬入道路に予定している豊田永江地区からの狭い農道を、水田や畑の合間を縫って予定地近くまで進み、関係者から、現地説明を受けた。

水質汚染、自然環境破壊、農作物への風評被害、業者への不信感等の問題も出され、断固反対の住民の立場も報告された。下流域の住民の皆さんとともに建設断念を迫る対応が重要と思われる現地視察だった。



▲建設予定地付近で説明報告を受ける両議会参加者

平成30年度政務活動費の交付実績を報告します。

(単位:円)

	上半期	下半期	年間	内訳		
				会議研修費	広報広聴費	資料購入費
清水 均	82,380	37,023	119,403	81,690	25,401	12,312
瀧野 良枝	62,335	51,722	114,057	68,430		45,627
原田 幸長	60,000	60,000	120,000		120,000	
石川 信雄	0	27,060	27,060	27,060		
伊藤 まゆみ	32,438	42,926	75,364		55,516	19,848
青山 弘	0	40,060	40,060	40,060		
樋口 功	108,000	12,000	120,000		120,000	
渡邊 千賀雄	35,918	75,280	111,198		83,274	27,924

詳細は、ホームページまたは議会事務局で閲覧できます。

議会だより第54号 (3月定例会)

モニターアンケートにお答えします

記事の内容について

Q

予算説明の「債務負担行為」とは何ですか。

A

予算は単一年度で完結するのが原則ですが、1つの事業や事務が単年度で終了せずに後の年度においても「負担Ⅱ支出」をしなければならぬ場合は、あらかじめ後の年度の債務を約束することを予算で決めておきます。これを債務負担行為と言います。現実に現金支出が必要となった場合は、改めて歳出予算に計上（現年度化）しなければなりません。

記事では「新庁舎建設」がこれに当たります。複数年にわたる工事で、そのうち、30年度に予定していた庁舎建設事業が次年度に変更したことで、一般会計の予算補正が行われました。なお、今後、できる限り専門的な行政用語を使用しないようにします。

Q

主な事業の予算額について、「学ぶ」の約7億円に対して主な予算4事業で約6000万円、「安心」の約16億円に対して主な予算5事業で約9000万円なのが気になる。新たな事業だけを載せたものか。金額の開きが大きすぎる。

A

ご指摘のとおり、「主な事業」には、総合計画の基本目標区分ごとに新たな事業のみを掲載しました。その旨、注意書をすべきでした。

議会・委員会の傍聴について

Q

3月定例会の傍聴26人は多いのでしょうか。少ないのでしょうか？定例会ごとの傍聴人数を公表したらどうでしょうか。

A

3月定例会の過去5年の平均は20人（1日平均4人）でした。また、30年度定例会全体の傍聴者数は130人で、過去5年間では最も多くの方に傍聴していただきましたが、さらに多くの方の傍聴をお待ちしています。なお、議会傍聴者数は、「議会白書」で公表されており、町ホームページでご覧いただくか、議会事務局にお問い合わせください。

Q

予算審査の町民の傍聴は可能ですか。

A

傍聴できます。予算は議会、議会から付託された予算決算常任委員会、総務産業小委員会、福祉文教小委員会で審査されます。開催日は、あらかじめ公表されますので、多くの皆様の傍聴をお待ちしております。

その他

Q

若い人の意見、移住者の意見、女性の意見を広く拾ってもらいたい。

A

議会、議員は、老若男女を問わず、町民の皆さんの声に耳を傾ける努力をしています。議会だよりでは、「傍聴席」、「新しい町づくりへ 私の提案」、「議会だよりモニター 生の声」などで、様々な年代層の方のご意見等を掲載させていただきます。

また、例えば、議会広報モニター、政策サポーター会議、各地区での議会と区民との懇談会などにおいても幅広く、ご意見を聞かせていただいております。今後も多くの方のご意見をいただけるよう工夫していきます。

新しい町づくりへ 私の提案

第15回

一人ひとりが積極的に活動に参加を



原 正彦さん
(倉井)

飯綱町は自然豊かでとても住みやすい町だと思います。しかし、諸先輩方が築いてくれた消防、公民館、壮友（お祭り）の行事等に参加するのが嫌で、家にも参加しない。ひどくなると、それが原因で町から出て行ってしまふ若者がいます。そんなことをしても何も得られないと考えています。

私は、大勢の人が集まる行事や活動に参加するのが大好きです。それは地域の方や先輩方とコミュニケーションを図れるからです。おかげさまで、いろんなところの役員をやっています。ほとんどがボランティア活動で、自分の時間を削ってやるのはつらいですが、みんなが人のためになるような行動をすればもっと地域や町がよくなると思います。

なんでもいい、何かひとつでも行事や活動に参加すれば絶対に自分の身につくことがあります。積極的に参加して町を盛り上げましょう。

あと、これ以上宅地など増やさず空き家などを利用して景観を守ってほしいです。

名産を作ろう



増田 瑛太さん
三水小学校6年

ぼくは、赤塩焼を町の名産にしたいと思います。2年前に第二小で赤塩焼を作り、とても大変でした。でも作っていると楽しくなり、どんどん赤塩焼のことが知りたくなりました。だから、名産にしたいと思いました。

飯綱町には、あまり名産がありません。あるとしたらくだものぐらいです。そこで赤塩焼を名産にしたいと思いました。赤塩焼には、いろいろな歴史があることも知り、これはおもしろいと思いました。赤塩焼のミュージアムを造って、作品を展示したり赤塩焼の体験をしたりすればいろいろな人にも知ってもらい、働く人が増えます。

赤塩焼を中心に新しい産業を興して人が集まり働ける場所をつくるのが町の発展につながると思います。

三水小6年生からは他にもこんな意見が出ました!!

- ・夏の遊び場はB&Gだけしかない。公園があったら1年中遊べるし、お年寄りとも交流できると思う。
- ・未来へ残したいのは三水の名前の由来となっている『用水』、それから毎年、町全体が盛り上がっている『お祭り』。
- ・スーパーやお店がもっとあると便利になると思う。大半の人は、中野や長野に買い物に行っているから。
- ・バスの本数を増やして欲しい。バス停にベンチや屋根をつけて欲しい。
- ・環境の町にしたい。「ゴミを捨てない」「水を汚さない」。一人ひとりが環境に関心を持つことが大事だと思う。
- ・働く場所が少ないと思う。ホテルのような大きな宿泊施設が出来れば、働く場所が増えて、観光客も来て、賑やかになると思う。

町の 伝統・文化

噴火前は、 2500m強の

飯縄山



私たちが朝に夕に眺める飯縄山は、かつては噴火を繰り返した火山です。活動を止めてから長い間は丸みを帯びたやさしい山容を見せています。現在の山頂の標高は1917mで、

と、元気に噴火していた頃の姿を復元できます。そうすると、飯縄山は優に2500mを超えるようなたくましい姿をしていたことがわかります。学芸員 富樫 均氏提供 (東黒川在住)

数字の語呂合わせから「ひくいな」という標高の覚え方があります。でもそれはふるさとの山にちよっと失礼な話です。

写真は現在の飯縄山に、かつての山の形を破線で示したものです。成層火山特有の山麓斜面の曲線を上方に延長し、直径500mくらいの火口を想定する

55号表紙説明

僕は佐藤家の長男として6月4日に生まれたばかりの幹介です。りんごの樹の幹のように強く育て、日本一のりんご作りをしたいと思っています。



議会だよりモニター

生の声

16

町有林の木材の有効活用を



丸山 和範さん (中宿)

私は現在、後世に健全な森林を残すために森林組合で一般職員として働いています。

飯綱町には、霊仙寺湖周辺をはじめ町内各地に林齢が50〜55年のカラマツが主

体の大面積の町有林が存在しています。これから木材の利用期を迎えるにあたり、町が事業主体で公共建築物を建てる際には、木造化や内装材等に木材を使用していたいただきたいと思っています。戦後の先人たちが苦勞して植林し、大切に育ててきてくれた貴重な町の資源です。その木材をふんだんに使用した温かみのある建物を建てていただきたいと思っています。町や議会には、この貴重な町有財産のカラマツを建築物以外にも活用していただく施策を検討してほしいと思います。

9月定例会予定

9月2日～20日 (19日間)

一般質問

5日 (木)・6日 (金)

常任委員会

9日 (月)・10日 (火)

編集後記

6月28日、今年生まれたツバメたちがみんな巣立ちました。翌日、子ツバメはパタパタと一生懸命に飛んでいました。ついこの間までピイピイ鳴いて親に頼っていたのが自力で餌をとって生きていかねばなりません。「さあ、頑張っ！令和の子ツバメたち」

編集委員

満	清水	人	行	発
均	清水	長	員	委
枝	瀧野	長	副	委
行	風間	員	委	委
男	伊藤	員	委	委
み	ま	員	委	委
ゆ	藤	員	委	委
み	山	員	委	委
弘	青	員	委	委
功	山	員	委	委
	樋	員	委	委
	口	員	委	委